

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公表番号】特表2012-533408(P2012-533408A)

【公表日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-521678(P2012-521678)

【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 M 29/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/00 P

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月12日(2013.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリ(L-ラクチド)と、前記ポリ(L-ラクチド)に混合、分散、または溶解させた0.05wt%～0.5wt%のL-ラクチドモノマーとを含むポリマースキヤフォールドを備え、

前記ポリ(L-ラクチド)の結晶化度は、20～50%であり、

前記ポリ(L-ラクチド)の数平均分子量は、ポリスチレン標準と比較して60,000～300,000である、

血管の患部を治療するためのステント。

【請求項2】

前記スキャフォールドは、95wt%超のポリ(L-ラクチド)を含む、  
請求項1に記載のステント。

【請求項3】

前記スキャフォールドは、一定パターンのストラットで構成され、

前記パターンは、結合用ストラットで接続された複数の円筒形リングを含む、

請求項1または請求項2に記載のステント。

【請求項4】

前記ストラットは、矩形断面を有し、断面積が20,000～25,000μm<sup>2</sup>である、

請求項3に記載のステント。

【請求項5】

前記スキャフォールドは、チューブをラジアル方向に200～500%拡張させ、前記チューブから前記ステントを形成することによって誘発したポリマー鎖配向を有する、

請求項1～請求項4のいずれかに記載のステント。

【請求項6】

前記L-ラクチドモノマーは、100～1000nmのサイズの粒子である、

請求項1～請求項5のいずれかに記載のステント。